

## ⑦考えよう「デジタル終活」

記入日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

1.どんなデジタル製品(スマホ、パソコン、タブレットなど)を持っていますか？

携帯電話 ・ スマートホン ・ タブレット ・ パソコン

2.親しい方の電話番号をどこに登録していますか？

携帯やスマホのみ ・ 紙で「電話番号」を残している

3.「携帯・スマホのみ」の方、その番号を第三者が見られますか？

- ・ 個人情報なのでパスコードなどで見られないようにしている
- ・ 誰でもが見られるようにしている

<考えてみましょう>

あなたに何かあったとき、あなたの親しい方に連絡をしたくても、携帯やスマホにしか登録されていないければ、そして、パスコードがないと開くことが出来なければ連絡することができません。

「紙」に残すか、もしもの時のために「パスワード」「ID」などが家族に伝わるようにしましょう。

4.タブレット・パソコンのログインは誰でもできますか？

パスワードがないとログインできない ・ 誰でもログインできる

<考えてみましょう>

大切な書類をすべてパソコン管理にしていますか？

もしもの時のために「パスワード」「ID」などが家族に伝わるようにしましょう。

5.ネットバンクを利用していますか？

- ・ 利用している ( 家族も知っている ・ 家族は知らない )
- ・ 利用していない

<考えてみましょう>

通帳のないネットバンクでは、口座の存在を家族が知らなければ相続することができません。もしもの時のために「パスワード」「ID」「アカウント」などが家族に伝わるようにしましょう。

## 6.FX（外国為替証拠金取引）を行っていますか？

- 行っている（ 家族も知っている ・ 家族は知らない ）
- 利用していない

<考えてみましょう>

たとえあなたが亡くなっても、アカウントが開かれるまでの間にも取引は続いています。もしもの時のために「パスワード」「ID」「アカウント」などが家族に伝わるようにしましょう。

## 6. SNS を利用していますか？

- 利用している（ 家族も知っている ・ 家族は知らない ）

ブログ、フェイスブック、ツイッター、インスタグラム

その他（ ）

- 利用していない

<考えてみましょう>

たとえあなたが亡くなっても、あなたの書いたものはアカウントを抹消しない限り残り続けます。すでに亡くなっているのに誕生日にコメントが来たら、家族はどう感じるでしょう。

もしもの時のために「パスワード」「ID」「アカウント」などが家族に伝わるようにしましょう。

元気な間に「仕事上のもの」「死後家族に残したいもの」「死後抹消したいもの」

に分けて保管し、死後どうして欲しいのかを身近な方に伝えておきましょう。